

# 令和3年度統計法施行状況に関する 審議事項（案）

- 1 第1WG（国民経済計算）
- 2 第2WG（経済統計）
- 3 第3WG（国民生活・社会統計）
- 4 第4WG（共通基盤）

<参考> 審議事項（全体版）

1 第1WG（国民経済計算） 審議事項（案）

項目	審議事項	論点の例
I 国民経済計算の 精度向上・充実	1 QEの精度向上に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人企業統計の一部早期化に係る検討について</li> <li>・ 推計方法に関する包括的な見直しについて（品目の細分化、共通推計項目の拡充など）</li> <li>・ 分配面における改善の検討について（年次推計の精度向上、四半期別GDP速報の公表）</li> <li>・ 2次QEにおける建築物リフォーム・リニューアル統計の活用に係る検討について</li> </ul>
	2 年次推計の精度向上に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービスを中心とした第一次年次推計から基準年推計に至る推計手法のシームレス化の検討について</li> </ul>
	3 基準年推計の精度向上に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準年SUT・産業連関表の部門分類の設定、生産物分類の階層構造化の検討について</li> <li>・ 基準年推計・中間年推計（産出面）に関する課題の検討について</li> <li>・ 基準年推計・中間年推計（投入面）に関する課題の検討について</li> <li>・ 基本価格表に関する課題の検討について</li> <li>・ 既存の一次統計でカバーしていない分野に係る基礎資料の充実の検討について</li> </ul>
	4 デフレーター の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存統計で捕捉できていない価格の把握：医療、介護、教育の質の変化を反映した価格及び小売サービスの価格の把握手法とその応用の検討について</li> <li>・ 既存統計で捕捉できていない価格の把握：建設の価格の把握に係る研究の実装に向けた検討について</li> </ul>
	5 国民経済計算の 充実等に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外の状況や国内の研究、ニーズを踏まえた国民経済計算における制度部門別勘定の更なる整備に係る検討について</li> <li>・ 2025SNA（仮称）策定等に向けた国際議論への関与及びその実装に向けた基礎的な検討について</li> <li>・ SNAにおける新型コロナウイルス対応（QE、年次推計）の包括的な検証について</li> <li>・ 国民経済計算体系における経済のデジタル化のよりの確な把握に関する課題の検討について</li> <li>・ グリーンGDP（仮称）などに関する課題の検討について</li> </ul>

## 2 第2WG（経済統計） 審議事項（案）

項目	審議事項（案）	論点の例
I 経済統計の体系的整備の推進	1 経済構造を把握する統計の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済構造統計の体系的整備について</li> <li>・ 経済構造を機動的に把握するための統計整備について（デジタル経済・グローバル化等）</li> </ul>
	2 サービス産業・企業関連統計の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス部門に関する基幹統計の整備について</li> <li>・ 第3次産業活動指数の精度向上について</li> <li>・ 法人企業統計調査の精度向上に向けた取組について</li> </ul>
	3 経済統計の改善に向けた基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所母集団データベースの整備・利活用について</li> <li>・ 各種ガイドラインの整備・適用を通じた経済関連統計の改善について</li> </ul>
II 経済活動のグローバル化に対応した統計の整備	1 グローバル化に対応した統計の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済構造を機動的に把握するための統計整備について（デジタル経済・グローバル化等）【再掲】</li> </ul>
	2 国際比較可能性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGグローバル指標の整備の推進について</li> <li>・ 国際的な動向のよりの確な把握について</li> </ul>
III 個別分野に関する統計の整備	1 環境に関する統計の充実・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物等循環利用量実態調査等の精度向上について</li> </ul>
	2 観光に関する統計の精度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊旅行統計調査等の精度向上について</li> <li>・ 訪日外国人の消費動向の的確な把握について</li> </ul>
	3 建設・不動産に関する統計の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設総合統計の精度向上に向けた取組について</li> <li>・ 土地所有及び利用状況の全体像の把握について</li> </ul>
	4 農林水産統計の整備・改善・利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業経営統計調査や作物統計調査の調査実施方法の一層の効率化について</li> </ul>
	5 物価に関する統計の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CPIの精度向上に向けた取組について</li> </ul>

### 3 第3WG（国民生活・社会統計） 審議事項（案）

項目	審議事項（案）	論点の例
I 人口や暮らしに関する統計の整備	1 社会保障に関する統計の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者統計の充実に向けた対応について</li> <li>・ 国際基準に準拠した社会保障費用統計の作成等について</li> </ul>
	2 暮らしや生き方に関する統計の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民生活基礎調査及び人口動態調査のオンライン調査の状況について</li> <li>・ ジェンダー統計をめぐる状況について</li> <li>・ Well-being をめぐる状況について</li> </ul>
	3 消費行動を把握する統計の体系的整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国家計構造調査の実施状況について</li> </ul>
II 個別分野に関する統計の整備	1 雇用・労働環境の実態をよりの確に把握する統計の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月勤労統計調査の現状と今後の改善について</li> <li>・ 働き方の変化の実態把握について</li> <li>・ 外国人の雇用実態を把握するための統計の整備について</li> <li>・ 船員労働統計調査の今後の改善について</li> </ul>
	2 教育をめぐる状況変化等に対応し、その変化を的確に捉える統計の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 21世紀出生児縦断調査の今後について</li> <li>・ 学校を対象とした統計調査における統合型校務支援システムの活用について</li> <li>・ 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について（客観性及び比較可能性の向上等）</li> </ul>

#### 4 第4WG（共通基盤） 審議事項（案）

項目	審議事項（案）	論点の例
I 統計の品質確保・デジタル化	1 PDCAサイクルの確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクル確立に向けた今後の取組について</li> <li>・統計作成プロセスの改善に向けた今後の取組について</li> <li>・業務マニュアルの整備、集計業務の標準化等について</li> </ul>
	2 統計基盤のデジタル化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-Stat改善（DB化、メタ情報・カタログ情報の整備等）について（下記再掲）</li> <li>・オンライン調査（e-survey）の推進について</li> <li>・行政記録情報等の活用に向けた取組について</li> <li>・ビッグデータの活用について</li> <li>・集計業務の標準化等について（再掲）</li> </ul>
	3 統計の比較可能性の確保等の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計基準の整備</li> <li>・統計間の比較可能性向上の取組など</li> </ul>
II 統計調査の環境整備・改善	1 統計調査の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査環境整備・報告者の理解増進の取組（プロファイリング、e-survey改善等）について</li> <li>・オンライン調査（e-survey）の推進について（再掲）</li> <li>・回収率向上の取組</li> </ul>
	2 報告者の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政記録情報等の活用に向けた取組について（再掲）</li> <li>・オンライン調査（e-survey）の推進について（再掲）</li> </ul>
	3 災害・感染症等の発生時における対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害・感染症等の発生時における統計調査の在り方について</li> </ul>
III 統計の利活用の推進	1 EBPMの推進・民間での活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-Statの改善（DB化、メタ情報・カタログ情報の整備等）について</li> <li>・統計ニーズの把握について</li> <li>・統計リテラシーの向上</li> </ul>
	2 調査票情報の利活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査票情報等の利活用に係る環境整備について</li> <li>・匿名データの作成・改善の状況について</li> </ul>
IV 統計リソースの確保・人材育成	1 統計リソースの確保と業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計の品質確保、人材育成、相談支援体制等に必要リソースの確保について</li> <li>・業務マニュアルの整備、集計業務の標準化等について（再掲）</li> <li>・地方公共団体との連携及び統計調査員の確保・育成・支援</li> <li>・民間事業者との共同</li> </ul>
	2 統計人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計データアナリスト、アナリスト補の資格取得の推進について</li> <li>・統計研修の充実強化について</li> </ul>
	3 統計リテラシーの醸成と意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府全体の統計リテラシー向上、誤り発見時の対応について</li> <li>・統計部門の職場風土の改善・職員の意識改革について</li> </ul>
	4 中央統計機構の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各省支援の現状と充実方策について</li> </ul>

<参考> 審議事項（全体版）

第1WG（国民経済計算）	第2WG（経済統計）	第3WG（国民生活・社会統計）	第4WG（共通基盤）
<p><b>I 国民経済計算の精度向上・充実</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 QEの精度向上に向けた取組</li> <li>2 年次推計の精度向上に向けた取組</li> <li>3 基準年推計の精度向上に向けた取組</li> <li>4 デフレーターの実充</li> <li>5 国民経済計算の実充等に向けた検討</li> </ol>	<p><b>I 経済統計の体系的整備の推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済構造を把握する統計の整備・改善</li> <li>2 サービス産業・企業関連統計の整備・改善</li> <li>3 経済統計の改善に向けた基盤整備</li> </ol> <p><b>II 経済活動のグローバル化に対応した統計の整備</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 グローバル化に対応した統計の整備</li> <li>2 国際比較可能性の向上</li> </ol> <p><b>III 個別分野に関する統計の整備</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境に関する統計の実充・整備</li> <li>2 観光に関する統計の精度向上</li> <li>3 建設・不動産に関する統計の整備</li> <li>4 農林水産統計の整備・改善・利活用</li> <li>5 物価に関する統計の改善</li> </ol>	<p><b>I 人口や暮らしに関する統計の整備</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会保障に関する統計の整備</li> <li>2 暮らしや生き方に関する統計の整備</li> <li>3 消費行動を把握する統計の体系的整備</li> </ol> <p><b>II 個別分野に関する統計の整備</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 雇用・労働環境の実態をより的確に把握する統計の整備</li> <li>2 教育をめぐる状況変化等に対応し、その変化を的確に捉える統計の整備</li> </ol>	<p><b>I 統計の品質確保・デジタル化</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 PDCAサイクルの確立</li> <li>2 統計基盤のデジタル化の推進</li> <li>3 統計の比較可能性等の確保の取組</li> </ol> <p><b>II 統計調査の環境整備・改善</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 統計調査の環境整備</li> <li>2 報告者の負担軽減</li> <li>3 災害・感染症等の発生時における対応</li> </ol> <p><b>III 統計の利活用の推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 EBPMの推進・民間での活用の促進</li> <li>2 調査票情報の利活用の促進</li> </ol> <p><b>IV 統計リソースの確保・人材育成</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 統計リソースの確保と業務効率化</li> <li>2 統計人材の育成</li> <li>3 統計リテラシーの醸成と意識改革</li> <li>4 中央統計機構の役割</li> </ol>